

令和5年度「春の里山で身近な生き物を探そう！」

日 時 令和6年3月16日（土） 午前9時00分から

行 程 御油松並木公園 集合 → 赤坂町 → 御油松並木公園 解散

当日の様子



今回の「里山で身近な生き物を探そう！」は御油松並木公園及び赤坂町周辺で開催しました。

当日は5人が参加して、東三河自然観察会の天野保幸先生達と里山に生息する動物や植物などを観察しました。集合場所となった御油松並木公園の駐車場を出発すると、音羽川を渡って御油松並木公園を通り抜け、赤坂町の宮道天神社方面へ向かって歩きました。

御油松並木公園ではツバキの生垣の根元近くに生えているウラシマソウを観察しました。ウラシマソウは葉よりも低い位置に花が咲くこと、地中にある芋が小さいうちは雄花が咲くが、芋が成長すると性転換して雌花が咲くようになることを先生が教えてくれました。また、ムラサキサギゴケやキュウリグサ、オランダミミナグサなど道端でよく見かける植物についても教えてくれました。

また、赤坂町の宮道天神社手前の田園地帯では、コオニタビラコ（ホトケノザ）、ナズナなど春の七草に数えられる植物のほか、レンゲやタネツケバナ、トウカイタンポポなどの花を観察することができました。



↑ 音羽川にいるカルガモ、コガモを観察



↑ ヤドリギの実のネバネバを観察



↑ツバキの生垣の根元にあるウラシマソウを観察



↑コウヤボウキの綿毛を観察



↑ウラシマソウ



↑タチツボスミレ

観察した主な植物等

ウシハコベ、ウラシマソウ、オオイヌノフグリ、オオジシバリ、オランダミミナグサ、
 キュウリグサ、キランソウ、コウヤボウキ、コオニタビラコ、コシダ、コハコベ、サネカズラ、
 サンシュユ、ジュズダマ、スイバ、スズメノヤリ、セイヨウカラシナ、セイヨウタンポポ、
 セトガヤ、タチイヌノフグリ、タチツボスミレ、タネツケバナ、チチコグサ、ツクシ、ツバキ、
 ツボミオオバコ、トウカイタンポポ、ナズナ、ノジスミレ、ハクモクレン、ハナニラ、ハルノゲシ、
 ヒガンザクラ、ヒメウズ、ヒメオドリコソウ、ヒメコバンソウ、ホトケノザ、マダケ、
 ミチタネツケバナ、ムラサキカタバミ、ムラサキサギゴケ、ムラサキハナナ、モチツツジ、
 ラッパズイセン、レンゲ、ヤドリギ、ヤブカンゾウ 他

観察した主な動物

カルガモ、カワウ、キタキチョウ、コガモ、セグロセキレイ、タイワンタケクマバチ、
 ナナホシテントウ、ニホンミツバチ、ヒメアカタテハ、ムクドリ 他

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

・子どもにも分かりやすく教えて下さり、とても楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

などのご意見をいただきました。